



大日堂境内の五百羅漢(県指定史跡・菟野町)

発行/三重県議会 編集/三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

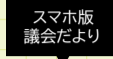
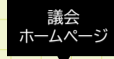
〒514-8570 津市広明町13 TEL 059 (224) 2877

FAX 059 (229) 1931 MAIL gikaik@pref.mie.lg.jp

URL <https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>

URL <https://www.gijiroku.jp/mie/> (スマホ版)

URL <https://www.facebook.com/miepref.gikai> (Facebook)



行政部門別常任委員会における令和5年度の活動紹介

6つの行政部門別常任委員会では、それぞれ複数の「重点調査項目」を設定し、三重県が抱える課題や県の施策などを審査・調査しました。重点調査項目の一部について、その審査・調査の内容を紹介します。

総務地域連携交通 常任委員会

熊野古道世界遺産登録20周年も見据えた 南部地域の振興について

県の南部地域の振興に向けた取り組みについて調査し、令和6年の熊野古道世界遺産登録20周年に向け、県全域をあげた機運の醸成に取り組むよう、県当局に対して要望しました。

DXの推進について

日本最先端クラスのデジタル県を目指す群馬県庁において、DX推進の取り組みや官民共創スペース「NETSUGEN(ネツゲン)」についての現地調査を行い、その知見を委員会での議論に生かしています。



NETSUGENについて調査(群馬県)

医療保健子ども福祉病院 常任委員会

全ての子どもが豊かに育つことのできる 環境づくり

委員会では、全ての子どもが豊かに育つことのできる環境づくりを目指し調査を行っています。令和5年度は、社会的養育や子育て支援の取り組みのほか、近年注目されている子どもアドボカシーの取り組みについて現地調査を行い、県が行う子ども施策の取り組みの審査に生かしました。

また、県内で発生した児童虐待事案や不適切保育事案を受け、発生原因や対応状況を中心に調査し、県当局に対して、再発防止に向けた取り組みを徹底するよう要望しました。



社会的養育の取り組みについて調査(福岡県)

政策企画雇用経済観光 常任委員会

観光産業について

県は、観光振興基本計画を策定して、三重の観光産業の持続的な発展に取り組んでいます。委員会では、九州観光機構を訪問し、観光の発展と地域経済の活性化を図る活動について調査をしたうえで、三重の観光の進むべき方向やブランディングの取り組みなどについて県当局に意見しました。



九州観光機構の取り組みについて調査(福岡県)

産業イノベーションについて

スタートアップは、新たな価値創造を通じて多様な人の働く場の創出や新たな経済循環を生むなど、地域の課題解決や地域経済の起爆剤として期待されています。委員会では、中部経済産業局から意見を伺い、三重県におけるスタートアップの現状と支援についての調査・議論に生かしました。

防災県土整備企業 常任委員会

防災・減災対策

県は、災害から県民の命を守ることを最優先に防災・減災対策の取り組みを進め、災害対策本部活動をより迅速・的確に行うための本部体制を強化しています。

委員会では、令和3年7月に熱海市で発生した伊豆山土石流災害の現場を訪れ、災害現場での対応、課題や災害ボランティアの活動等に関して調査を行いました。



伊豆山土石流災害の状況について調査(静岡県)

折しも元日に能登半島地震が発生し、改めて防災・減災対策を喫緊の課題と捉え、災害時の道路啓開を見据えた道路整備の必要性など、防災・減災、県土強靱化対策について、調査・議論を行いました。

環境生活農林水産 常任委員会

文化振興について

県の文化振興条例案および文化振興計画案を審査・調査し、県当局に対して、さまざまな領域分野の専門家によるネットワークづくりを進めるなど、本県の文化行政にしっかりと取り組んでいくことを要望しました。

また、北海道博物館の取り組みや文化庁に採択された文化観光事業について現地調査を行いました。



北海道博物館での調査(北海道)

その他

みえ森と緑の県民税について調査し、県当局に対して、市町がこの県民税を活用した事業に取り組みやすい環境を整えるとともに、森林環境譲与税とのすみ分けやその周知方法など県民にとって有効に活用されるよう要望しました。

教育警察 常任委員会

教員の働き方改革について

県における教員の働き方改革や教職の魅力発信など、教員の人材確保に向けた取り組みについて調査を行うとともに、教員不足の現状と文部科学省における対策について参考人招致を行い、県当局に対して、今後もより実効性のある人材確保に向けた取り組みを進めるよう要望しました。

子どもを取り巻くさまざまな問題から 子どもを守る取り組みについて

公立フリースクール兵庫県立神出学園や広島県教育支援センターを訪問し、不登校状態にある子どもたちの多様な学びの場の保障について調査し、委員会での議論に生かしました。



広島県教育支援センター SCHOOL "S" での調査(広島県)



三重県議会は若者と積極的に関わっています

議員が小学校で授業をしました

県議회를身近に感じてもらうことを目的に、議員が学校に出向いて授業を行う「みえ県議会出前講座」を実施しています。

2月6日に実施した四日市市立浜田小学校での様子をお伝えします。

広聴広報会議の委員が2名で学校を訪問し、県議会の仕組みや議員の仕事などを動画やスライド資料を使用しながら授業をしたあと、皆さんからのたくさんの質問に答えました。



出前講座の様子

児童からの質問

- 本会議は何時間ぐらいかかりますか？
- 6つの行政部門別常任委員会の中で、活動が多いところはどこですか？
- 採決が起立からボタン（電子採決）になるのは楽しみですか？ など

随時募集

出前講座は、学校からの申し込みを受けて実施しています。申し込み方法などは県議会ホームページをご覧ください。主権者教育の一環としても活用してください。



参加校募集中！高校生が議会で議論

高校生に議会活動の体験を通じて議会への関心を高めるとともに、高校生の意見を議会での議論に反映していくために、「みえ高校生県議会」を実施しています。

参加校を募集中

- 開催日時** 令和6年8月21日（水）
- 開催場所** 三重県議会議事堂 議場
- 募集期間** 令和6年3月1日（金）～5月7日（火）
- 内容** 高校生が県政について質問し、県議会議員が答弁します。



前回（令和4年度）の様子

募集対象および学校数

県内の高等学校、特別支援学校高等部および高等専門学校に在学の生徒で、1校あたり2～4人程度。各学校1グループで合計8校程度（応募多数の場合は抽選）。

※詳しくは、県議会ホームページをご覧ください。



若年層の皆さんと意見交換

県民の皆さんの多様な意見を県議会での議論に反映することを目的に、「みえ現場de県議会」を実施しています。これまで、県内各地を会場にさまざまなテーマで開催しており、令和5年度に開催した2回は、いずれも「若者」をターゲットにテーマを設定して、若年層の皆さんからたくさんの意見を聴かせていただきました。

テーマ 若者とこれからの地域づくり ～聴かせてください！皆さんの声～

■ 令和5年度第1回（開催地：伊勢市）

日時 11月21日（火）午後6時～午後8時

17歳から29歳までの県内在住の若い世代の方（23人）に集まっていたいただき、グループに分かれて議員と意見交換を行いました。

参加者からさまざまな意見が出されました。

- この先10年20年のビジョンなど、地域がいずれ盛り上がっていくというような未来に向けた話を学生にしたほうが、地元に残っていくと思う。
- 公約などはスケールが大きいものが多いので、自分には関係ないと思ってしまうので小さなことでも吸い上げて議会で提案いただける機会があるとよい。 など



第1回の様子

テーマ 若者の人口流出について ～若者に選ばれ続ける三重県をめざして～

■ 令和5年度第2回（開催地：川越町）

日時 2月15日（木）午後6時～午後8時

三重県出身の20歳から37歳までの方（10人）に集まっていたいただき、グループに分かれて議員と意見交換を行いました。

学生や社会人など、それぞれの立場からさまざまな意見が出されました。

- 合同就職説明会に行っても三重県の企業は少ない。就職してからたくさんの中小企業と関わる中で、いい企業がたくさんあることに気づいた。それを大学時代に知ることができればもう少し違うと思う。
- 結婚して、出産・子育て、教育といった流れを想像したときに、その支援が充実していないと、三重に戻りたい・残りたいとは思わない。 など



第2回の様子

議会も大規模地震等に備えています

今後、発生が危惧される大規模地震や予測不能な危機への対応力を強化するため、1月18日、大規模地震対応訓練および不審物対応訓練を実施しました。

大規模地震対応訓練では、本会議中に大規模地震が発生したという想定で、自身の安全を確保する行動をとり、大規模地震対応マニュアルに基づく議事運営を確認しました。



訓練の様子

続いて実施した不審物対応訓練では、本会議中に議場付近で不審物が発見されたという想定で、本会議を休憩し、避難行動をとりました。



今回の訓練で使用したヘルメットは折り畳み式で、普段は本会議場の机の下に設置してあります。傍聴席の足元にも同じヘルメットを常備していますので、有事の際に使用してください。

能登半島地震災害へ義援金

令和6年1月に発生した能登半島地震により亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

県議会では、1月18日および2月2日に開催した代表者会議において、石川県議会に50万円、富山県議会に20万円、新潟県議会に20万円、福井県議会に10万円の義援金を全議員の拠出により贈ることを決定しました。

これを受けて、2月7日に、中森議長から東京都内等で4県の議長等に義援金を贈呈しました。